

## 田尻町一貫教育施設整備基本構想に対するご意見・ご提案の概要と町の考え方について

- 実施期間 令和5年10月10日から10月24日まで
- 意見提出者数 1名（個人1件、団体0件）
- 備考

1. 意見概要の文書は、原則原文のままとしていますが、一部用語の置換えなどの変更を加えています。
2. お一人の意見で複数の内容にわたる場合は、分けて提示させていただいている場合があります。
3. 次の表中で使用する各用語については、次のとおり表記させていただきます。
  - ・ 「田尻町一貫教育施設整備基本構想」は「基本構想」と表記します。

No	意見概要	町の考え方
1	<p>①一貫化によってもたらされる効能をより具体的に記述してほしい。現行記載の効能は”一貫教育化に”無関係にやらねばならぬ、やればよい事項ばかりである。</p> <p>②P22.これらも一貫教育の推移と関係がない。一貫化しなくとも当然こなされなくてはならない事項である。</p>	<p>今回の基本構想は、田尻町のめざすこども像を明らかにした上で、その姿の実現に向け施設面からどうアプローチできるか等、学校建設に関する基本的な考え方について整理し、今後の基本計画や基本設計、実施設計に反映するために取りまとめたものです。基本構想に記載している「たじり一貫教育」は、全教職員とその保護者でめざすこども像を共有し、0歳から15歳の子どもたちがともに学びともに育つことができるよう一貫したカリキュラムを編成するとともに、教職員の保育・教育が最大限発揮でき、子どもたちの学びや成長を施設面から促進することをめざしています。一貫化によってもたらされる効果については、現状においてもめざすべき内容であることはご意見のとおりですが、少子化の進行、生活様式の多様化など、教育を取り巻く環境が大きく変わる中で、子どもの学習意欲や学力・体力の低下、規範意識の希薄化など多くの面で課題が指摘されているのが現状です。確かな学力を身につけるためには、こういった課題にも向き合っていかなければなりません。田尻町がめざす一貫教育は、連続した学びはもとより、異年齢の子どもたちが同じ場所で学び・生活することで、さまざまな課題を乗り越えながら大きく成長していくことが最大の効果と考えています。やれば良いこと、当たり前のことが確実にできてこそ学力が身につくものであり、田尻町では、そういった基礎の部分も大事にした一貫教育をめざしています。</p>
	<p>③P21.4.こども園も構想に含まれているが、これは根本的に無理がある。（幼児教育はちゃんと免許も別になっている、小学校教員の免許の方は中学校と併せてもらえた筈）特に、必死で生命を維持しようとしている零歳児に何を”教育”しようというのか？</p> <p>④交流はもとより望ましいことであるが、これらは何も一貫化構想を持ち出さなくても推進できる筋合いのものである。</p>	<p>ご意見のとおりこども園、小学校、中学校を合築し、制度上1つの学校として運用することはできませんが、こども園、小学校、中学校を1か所に集約することで様々な教育上のメリットがあると考えています。1か所に集約することで、従来行われてきた意図した交流だけでなく、日々の学校生活の中で自然発生的な交流が生まれ、子どもも大人も育ち合い学び合いが生まれると考えています。それ以外にも、子どもたちにとって、学年が上がってもこども園や小学校で関わった先生が近くにいることで安心感を抱きながら学校生活を送ることができ、保護者にとっても、子どもが通い学ぶ環境が一貫していることで、見通しをもちやすく安心感をもって、こども園、小学校、中学校に送り出せると考えます。また、0歳～15歳までの学びや成長を切れ目なくつなげることを目標に掲げる中で、とりわけ0歳児は今後の発達発達につながる大変重要な時期と考えます。安心できる環境の中で、聞く、見る、触れるなどの体験を通して、身の回りに対する興味や好奇心、自発的な言動力を育むことが大切であり、基本構想にあるこども園、小学校、中学校が一体的に整備されることで、さまざまな年代とのコミュニケーションが容易になり、人とのかかわりを喜び、自発的に遊んだり、自己主張を活発にしたりする子どもに育つと考えています。また、思春期に入る小学校高学年や中学生にとっても、乳児期の子どもたちと関わることで、コミュニケーション能力の向上が図れたり、他人を思いやり、支える能力が養われたり、共感性や思いやりのある態度が育まれたりすると考えています。</p>
	<p>⑤P24.一貫校や一貫教育特有の具体的な教育理念や教育法を示さずに、抽象的な文章で構想が語られている。現段階では設備、施設に限った構想なのであれば、その議論により焦点を当ててまとめるべきではないだろうか。</p> <p>⑥本当の”一貫化”は施設の改築のみならず、難しいけれどもできる限りのカリキュラムの改変までに踏み込まなければ、何も効果があがらないであろう。はっきりそう書いた方が良いのではないだろうか。</p>	<p>基本構想で基本的な考え方を整理し、今後の基本計画や基本設計、実施設計に反映していく中で、より具体的にまとめていきます。ご意見にあるように基本構想は施設に関する構想ではありますが、どのような教育をめざすかによって、どのような施設が必要かわ変わってくると考えます。田尻町の「めざすこども像」を明確にし、そのためにどのような教育（一貫したカリキュラム編成も含む）を行い、どのような施設ならより効果的なのかを今後さらに具体的に整理していきます。次の基本計画ではより具体的な施設や環境等ハード面を中心にまとめていくこととなりますが、田尻町がめざす一貫教育を推進するためには、ご意見の通りカリキュラム等ソフト面が重要になってきます。引き続きハード・ソフトを両輪として進めていきたいと考えています。</p>